

冷涼地向け

農村環境を彩る花の使い方

雪印種苗(株) 北海道研究農場

花き担当 不破規智

1 はじめに

近年のガーデニングブームは、花好きだけでなく普段あまり関心のなかった人たちの意識も、花と緑に向けてくれました。テレビでは専門の番組が毎週放送され、書店でも、ガーデニングコーナーが設置されているのをたびたび見かけます。ここで言う日本の『ガーデニング』は多くの場合、都会暮らしの人たちが狭い庭やベランダで植物を楽しむことを指しているようですが、花や緑に興味を持つ人が増えるのは、とても喜ばしいことです。

国内旅行やレジャーでも、名所旧跡に温泉やグ



写真1 ラベンダー畑 (北海道空知郡上富良野町)



写真2 シバザクラ畑 (北海道紋別郡滝上町)

ルメだけではなく、花が主役となる場面が増えてきました。花が主役の観光地では、シーズンになるとたいへんな賑わいです(写真1, 2)。

一方、農村環境では田畑や路傍に緑がふんだんにあり、野の花が自然に咲く野山も身近にあることでしょう。また、広い庭では昔から、植木や草花が大切に育てられてきたことと思います。

2 花のある風景の原点

自然の花畑は今ではとても貴重なものとなりましたが、季節を選んで足を伸ばせば間近に見ることができます(写真3)。また、農村風景としておなじみの馬鈴薯畑も、花の季節には広大なお花畑

牧草と園芸・平成12年(2000)3月号 目次 第48巻第3号(通巻565号)



イタリアンライグラス
極早生品種「ハナミワセ」

□府県向・スノーミックスフラワーシリーズ……………表②	
□冷涼地向け・農村環境を彩る花の使い方……………不破 規智……1	
■水田転作での飼料作物栽培のポイント……………脇 大作……5	
■緑肥作物と出会って……………西村 泰一……7	
□北海道向け・ニンジン栽培の概要と 『ななか五寸』の栽培利点……………松田 政志……10	
□府県向・春～夏播き緑肥作物強カラインアッ……………表③	
□原料草の質を選ばない「アクレモ」……………表④	



写真3 サロベツ原生花園（北海道天塩郡豊富町）



写真5 夏の乳牛放牧風景（北海道夕張郡長沼町）



写真4 花盛りの馬鈴薯畑（北海道河西郡芽室町）



写真6 国道沿いに満開となったサンジャクバーベナ

表1 見る位置との距離で選ぶ花の草丈

花を見る人から花の咲く場所までの距離	咲かせる花の草丈
近距離	低い方がよい (見下ろす位置)
遠距離	平らな場所 高い方がよい (よく見えて華やか)
	斜面 低くても高くてもよい (見上げる位置)
長距離	道路に近い場所 高すぎない方がよい (視界の妨げにならないように、安全を考慮)
	道路から離れた場所 高い方がよい (遠くからもよく目立つ)

となりますし(写真4)、緑の放牧地は都会からの旅行者が思わず足を止める記念撮影のポイントです(写真5)。

花と緑のある風景の原点は、ここにあるように思えます。そして、私たちが花を植えるときのお手本も、ここから探るのがよいのではないのでしょうか。

3 農村環境にもっと花を

身近に自然の花と緑があるとしても、忙しくてなかなか目に入らないことが多いでしょう。また、身近に花を育て眺める楽しみは、日頃の疲れを癒してくれます。

我が家だけでなく地域で協力しあって花を植えれば、普段の生活範囲に花が広がって、さらに効果的です。道路沿いや道路から見える広めの場所に花を咲かせることで(写真6)、地域全体が明る

く感じられます。

4 花を咲かせる場所と距離を考える

せっかく咲かせる花ですから、きれいでよく見える場所に育てたいものです。そのためには見る人から花までの距離によって、咲かせる花の草丈を選びます(表1)。

5 種子を播くか苗を植えるか

パンジーやマリーゴールドなど1年草の花付きポット苗を植えると、その日から花壇はきれいになります。一方、1年草の種子を播く場合は短くて1~2か月、宿根草の場合は1年以上も花のないまま我慢しなければなりません。咲かせたい時期と花の種類、さらには、かけられる費用と手間に応じて、種子を播くか苗を植えるかを決める必要があります(表2)。

6 1年草と宿根草

一般に1年草は開花期間が長く華やかで、気候がよければ冷涼地では初夏から晩秋まで咲き続けます。一方、宿根草(多年草)は咲く時期が限定され、開花期は短期間のものが大部分ですが、来年も同じように咲く楽しみがあります(表3)。

表2 苗を植える場合と種子を直接播く場合の比較

考慮する内容	苗を植える場合	種子を直接播く場合
必要な苗または種子の量	m ² 当たり10~30本	m ² 当たり2g前後※
苗または種子の価格	1年草：120円前後 宿根草：200円前後 (園芸店で買い求めた場合)	種類によりさまざまなものがある
花が咲くまで	1年草：咲いた苗を植える 宿根草：定植時期によるが1年後のこともある	1年草：播種後1~2か月以降 宿根草：播種後1年以降
必要な作業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・圃場の準備 ・植え込み(人手で) ・除草：草が目立つとき 	<ul style="list-style-type: none"> ・圃場の準備(広ければ機械で) ・播種(広ければ機械で) ・除草：生えそろうまで定期的に
総合して	<ul style="list-style-type: none"> ・苗の購入費用が高い ・定植作業に人手が必要 ・除草は雑草が目立った時 	<ul style="list-style-type: none"> ・苗と比較して種子代は安い ・発芽後、雑草に負けない程度に除草する

※花の種類によって大きく異なります。取り扱い業者などにお問い合わせ下さい。

表3 冷涼地の花のカレンダー(北海道札幌市近郊を基準にして)

花の種類・草丈 月	年生	4	5	6	7	8	9	10	11	12月
プリムラ類 15~30cm	宿根	---	---	◎◎◎△	---	---	---	---	---	---
シバザクラ 15~20cm	宿根	---	---	◎◎◎△	---	---	---	---	---	---
ラベンダー 50cm前後	宿根	---	---	---	---	◎◎◎△	---	---	---	---
オーブリエチア 15~20cm	宿根	---	---	◎◎◎△	---	---	---	---	---	---
ヒメナデシコ 20~30cm	宿根	---	---	---	---	◎◎◎△	---	---	---	---
シュクンアマ 30~50cm	宿根	---	---	---	---	◎◎◎△△	---	---	---	---
ルドベキア 50~150cm	宿根	---	---	---	---	---	◎◎◎◎◎◎◎△	---	---	---
ブルーキャットミント 30~50cm	宿根	---	---	◎◎◎◎◎◎◎△△△△	---	---	---	---	---	---
パンジー・ビオラ 10~20cm	1年 苗を利用	☆◎◎◎◎△	---	---	△△△△	---	---	---	---	---
アリッサム 10~20cm	1年 苗を利用	☆◎◎◎◎△	---	---	△◎◎◎◎△△△×	---	---	---	---	---
ノースポール 20~40cm	1年 苗を利用	☆◎◎◎◎△	---	---	△◎◎◎◎△△×	---	---	---	---	---
ペチュニア 20~50cm	1年 苗を利用	☆◎◎◎◎◎◎◎◎◎◎◎△△△×	---	---	---	---	---	---	---	---
インパチェンス 20~40cm	1年 苗を利用	☆◎◎◎◎◎◎◎◎△△△△×	---	---	---	---	---	---	---	---
アゲラタム 15~30cm	1年 苗を利用	☆◎◎◎◎◎◎△△◎◎◎△△△×	---	---	---	---	---	---	---	---
ペゴニアセンパ 20~30cm	1年 苗を利用	☆◎◎◎◎◎◎◎◎◎◎◎△△△△×	---	---	---	---	---	---	---	---
マリナーゴールド 20~50cm	1年 苗を利用	☆◎◎◎◎◎◎◎◎◎◎◎△△△△×	---	---	---	---	---	---	---	---
サルビア(赤) 20~40cm	1年 苗を利用	☆◎◎◎◎◎◎◎◎◎◎◎△△△×	---	---	---	---	---	---	---	---
サンジャクパーベナ 70~120cm	寒涼地では1年 苗を利用	☆◎◎◎◎◎◎◎◎◎◎◎△△△×	---	---	---	---	---	---	---	---

☆：定植 ◎：花ざかり ○：きれいな △：少し咲いている -：咲いていない ×：枯れる

表4 代表的な花のうち、低温性の花と高温性の花

年生\性質	低温性	高温性
1年生	パンジー、ビオラ、アリッサム、ノースポール など	ペゴニア、ペチュニア、インパチェンス、サルビア、マリナーゴールド など
宿根性(多年生)	プリムラ類、シバザクラ、ラベンダー、オーブリエチア、ヒメナデシコ、ルドベキア など	ラベル付きペチュニア宿根パーベナ(北海道では宿根しない)



写真7 コスモス 利用しやすい



写真8 ミックスフラワー いろいろな種類の花が咲く

種子から育てる場合、1年草は生育が早く播いた年に開花しますが、宿根草では多くの場合、開花は翌年以降となります。

7 気候に合った花を選ぶ

冷涼地では、ペゴニアやインパチェンスなど高温性の花苗を植えるときは、遅霜の心配がなくなってからにします。逆に、パンジーやアリッサム、プリムラ類などは低温に強いですから、早めに植えても安心です(表4)。

種子を直接播種する場合、遅霜は避けませんが早めに播く方がよく、これは冷涼地では1年草でも宿根草でも同じと言えます。しかし、1年草のコスモスなど(写真7)、遅めに播いた場合でもよい結果を得られる花もあります。また、『ミックスフラワー』は(写真8)、開花期の異なるさまざまな花の種子が混合してあるため、季節ごとに咲く花の種類が交代しながら、長い間楽しめます。

8 冷涼地で使ってみたい花

環境美化に使う花には、高温性のものと低温性のものがあり、性質をよく知って使い分けなければなりません。例えば、温暖地でパンジーを栽培すると、梅雨の湿気と夏の暑さが原因で枯れてし

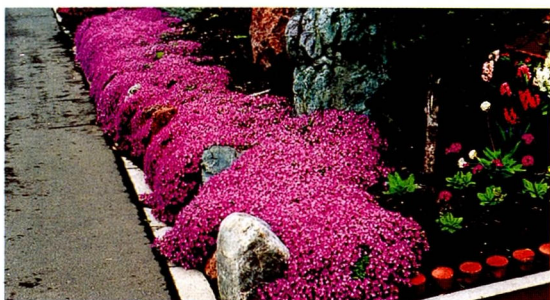


写真9 オーブリエチア シバザクラよりも早く咲く



写真12 ルドベキア 路傍に咲き誇る
(北海道中川郡幕別町)



写真10 ヒメナデシコ 地面を覆い、初夏に一齐に咲く



写真13 ブルーキャットミント ネコが好む香りと
いわれるが…



写真11 シュッコアマ 涼しげに風にゆれる
(北海道中川郡幕別町)

まいますが、冷涼地ではそのようなことはなく、夏越しも冬越しもさせることができます。逆に、宿根バーベナやサフィニア（ペチュニア）を北海道で栽培すると、屋外では冬の寒さで枯れてしまいます。

寒さに強く、冷涼地で使いやすい花をいくつかご紹介します。

オーブリエチア：シバザクラより早い時期に咲く、耐寒性の宿根草です。ポット苗を利用します（写真9）。

ヒメナデシコ：夏咲きの宿根草で、株が地面を覆うため雑草を押さえる効果も期待できます。種

子を直播した場合は、翌年からの開花となります（写真10）。

シュッコアマ（リナム ペレンネ）：さわやかなブルーの花を咲かせる宿根草です。種子で育て、翌年からの開花となります（写真11）。

ルドベキア：品種により耐寒性は異なりますが、耐寒性品種は特に強健です。種子を播き、気候がよければ一部はその年に開花を始めます（写真12）。

ブルーキャットミント（ネバタ ファーセニー）：ハーブの一種ですが、花も美しい強健な宿根草です（写真13）。

9 おわりに

近年は各地において、花による美化運動が盛んに進められています。成功したケースも多数あり、このような場合は自治体、普及センター、J Aなどのほか、住民の皆さんがバランスよく協力し合って進められているようです。

ここでは、植物としての花の性格を中心に技術的な面から紹介しましたが、初めて目にされる花もあった事と思います。さまざまな場面で、今後の参考にしていただけると幸いです。